

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育指導法	1	通年	演習	2	大迫 千佳子
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。</p>					
<p>○授業の概要</p> <p>授業は通年で進める。前期では教育の方法論として幼児教育と保育等の基礎的な理論、遊びを通しての総合的な指導方法など保育を構成する基礎的な要件の理解に取り組む。後期では、発達に応じた保育のありかた、保育の計画、実践、評価等で教育の技術を身に付けると共に情報機器及び教材は、遊びの調査、指導案作成、保育記録作成等において随時活用して基礎的な能力を身に付ける。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：保育方法とは何か（保育方法とは）</p> <p>第2回：〃 〃 （エピソードから見える保育方法のポイント）</p> <p>第3回：子ども理解に基づいた保育方法と評価（保育の出発点としての子ども理解）</p> <p>第4回：〃 〃 （子どもの内面理解を支える発達を見る目）</p> <p>第5回：子どもにふさわしい園生活と保育形態（子どもにとってふさわしい生活）</p> <p>第6回：〃 〃 （保育形態）</p> <p>第7回：養護と保育が一体となった保育の方法（養護とは何か）</p> <p>第8回：〃 〃 （「教育とは」、そして「養護と教育が一体となった保育」とは）</p> <p>第9回：環境を通した保育の方法（環境を通しての保育とは）</p> <p>第10回：〃 〃 （環境構成の工夫・DVD視聴）</p> <p>第11回：遊びを通した保育の方法（子どもが遊ぶということ）</p> <p>第12回：〃 〃 （遊びを支える保育者の関わり）</p> <p>第13回：〃 〃 （遊んでみよう）</p> <p>第14回：個と集団を活かした保育の方法（保育における個と集団）</p> <p>第15回：〃 〃 （個を活かした集団づくり）</p> <p>第16回：0・1・2歳児の発達に応じた保育方法（はじめての保育園）</p> <p>第17回：〃 〃 （主体的に遊び、生活する乳児）</p> <p>第18回：〃 〃 （乳児期の発達と遊び）</p> <p>第19回：3・4・5歳児の発達に応じた保育方法（安心して自己発揮する時期）</p> <p>第20回：〃 〃 （友達と関わりを持ち一緒にする楽しさを味わう時期）</p> <p>第21回：〃 〃 （協同して遊びや生活を展開していく時期）</p> <p>第22回：保育の計画・実践・評価（保育の計画、実践評価とは）</p> <p>第23回：〃 〃 （指導計画の実際・指導案の作成）</p> <p>第24回：保育の計画・実践・評価（部分実習指導案の作成）</p>					

第25回：家庭・地域との連携した保育（子育ての現状、保護者との連携のために）

第26回：〃 〃 （地域との連携）

第27回：小学校との接続・連携

第28回：配慮を要する子どもへの保育方法（ちょっと気になる子どもへの保育の実際）

第29回：教材や情報機器を活かした保育方法

第30回：まとめ（保育者の成長と求められる保育者像）

定期試験

○テキスト

「保育方法・指導法」 著者：大豆生田 啓友 他 ミネルヴァ書房

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省 フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省 フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館

○参考書・参考資料等

「エピソード記述で保育を描く」（鯨岡 峻著） 「気になる保護者」（守 巧著）

○学生に対する評価

学習授業への関心・態度（20%） 課題解決への取り組み（30%） 定期試験（50%）